

起 案 用 紙

記 号 番 号	建環生 第 251 号		特 殊 取 扱	公布・告示・公印省略・公印刷込 その他 ()					
起 案 日	令和 8 年 08 月 12 日		公印使 用確認			保 存 期 間		5年	
決 裁 日	令和 8 年 8 月 14 日								
施 行 日	令和 8 年 9 月 1 日		公開の可否	公開					
所 属	環境保全課生活環境係		起案者 職氏名	主査補 木津川 芳秀 印					
文書分類 (ガイド)	F -08 -01 住民 -環境 -環境保全		個別フォルダ名 (ファイル)	054 CCS事業 (一般文書)					
決 議			部 長	参 事	課 長	主 幹	補佐等	係 長	
									
	合 議						係		
あて	市民の皆様へ			発	山武市長 小野崎 正喜				
件 名	首都圏CCS事業者が発行する情報誌「うみとみらい通信第3号」の情報提供について								
(伺い)									
首都圏CCS株式会社において、9月1日に「うみとみらい通信第3号」の発行が予定されています。									
7月1日発行の第1号から同様に、市広報紙と同梱のうえ全戸配布してよろしいか伺います。									
記									
1 配布方法									
シルバー人材センターによる各戸配布 (市広報紙と同梱による)									
2 配布時期									
令和8年9月初旬 (広報さんむ9月号と同期)									
※事業者がシルバー人材センターへ直接納品									
(裏面に続く)									

3 特記仕様

市かがみ文を掲載したチラシ形式（A3版両面印刷）、20,700部

4 経費負担

首都圏CCS㈱が全て負担（印刷、配送委託料等）

(案)

建環生第 号
令和8年9月1日

市民の皆様へ

山武市長 小野崎 正喜
(公印省略)

首都圏CCS事業者が発行する情報誌「うみとみらい通信第3号」
の情報提供について

日頃は、市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、首都圏CCS事業者が発行する「うみとみらい通信」について、令和8年9月1日に第3号が発行されましたのでお届けします。

■CCSとは

「CCS」とは、「Carbon dioxide Capture and Storage」の略で、日本語では「二酸化炭素回収・貯留」技術と呼ばれます。鉄鋼業や化学工場、発電所等から排出された二酸化炭素を他の気体から分離して集め、パイプラインや船舶で輸送し海中深くに貯留する技術で、大気への二酸化炭素排出削減が可能です。

■首都圏CCS事業とは

国では、2050年カーボンニュートラル実現のための方策の一つとしてCCSを掲げています。

2024年6月に、首都圏CCS事業は独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構が支援する「先進的CCS事業」9案件の一つとして選定されました。本事業は、千葉県内房の京葉臨海工業地帯で、主に鉄鋼業の重工業等で生じる二酸化炭素をパイプラインで輸送し、九十九里沖の海底下に貯留する事業です。

■首都圏CCS事業の進捗状況

2025年9月に、国は地中に貯留層が存在する可能性がある区域として、九十九里沖を「特定区域」に指定し、試掘を実施する特定事業者の公募を行いました。首都圏CCS株式会社はこれに応募し、2026年4月に経済産業大臣から試掘の許可を受けています。

現在は、2026年7月から2027年1月にかけて、九十九里沖海底下の試掘調査が計画されています。

■「うみとみらい通信」の配布、コミュニケーションセンターの開設について

「うみとみらい通信」は、首都圏CCS株式会社が、試掘区域に隣接する市町住民への情報発信として刊行しています。市では、皆様への速やかな情報提供のため、同社による費用負担により、市広報紙と同梱し全戸配布しています。

また、同社にて、地域住民への情報発信および対話の場として、コミュニケーションセンター「うみとみらい」を開設していますので、併せてお知らせします。

住所：〒283-0102 千葉県山武郡九十九里町小関 2347-98 地先（海の駅 九十九里 第二駐車場横）
開館時間：10時～16時 休館日：火曜日、水曜日、年末年始

○市所管部署

建設環境部 環境保全課

Tel：0475-80-1161、Mail：kankyohozen@city.sammulg.jp



「うみとみらい通信」
のバックナンバーは、
こちらから閲覧できます。

市ホームページ

■■■ 首都圏CCS事業に関する問合せ先 ■■■

首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット

TEL：043-375-6531

Mail：metroccs.inquiry@inpex.co.jp

第3号

うみとみらい通信

2026年9月1日発行

九十九里沖の地下調査で何が分かる？



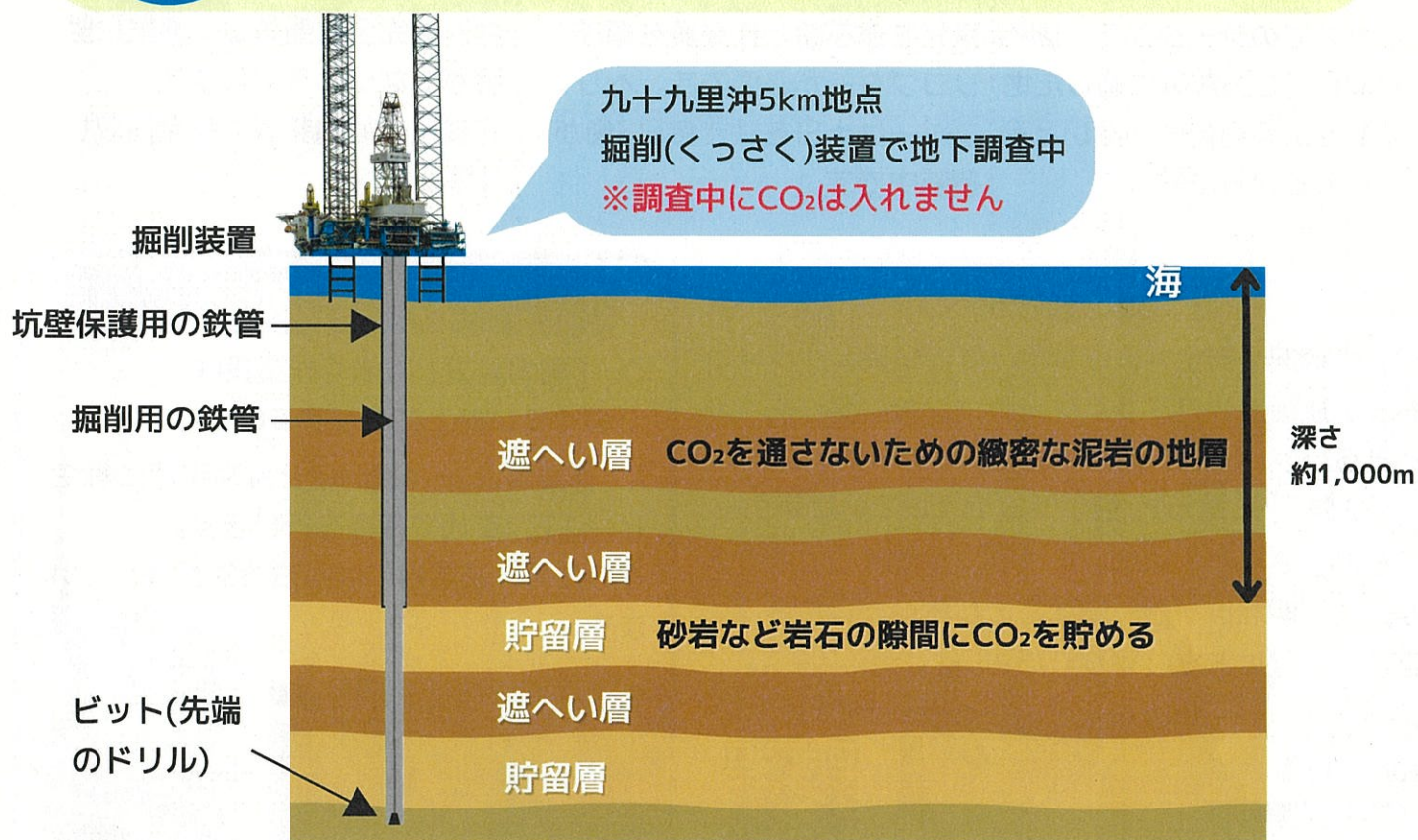
うみとみらい通信について

私たちは、九十九里沖でCCS「二酸化炭素（CO₂）を地下に閉じ込める技術」が安全に実施できるかを確認するための調査を進めています。この通信では、調査の内容や進み具合、安全への取り組みについて分かりやすくお伝えしていきます。

今月の
トピックス

CCS(CO₂地下貯留)に適した地層が確かめるため
九十九里沖 約5km地点で地下調査をしています

九十九里沖5km地点
掘削(くっさく)装置で地下調査中
※調査中にCO₂は入れません



地下調査で何が分かる？

CO₂を地下に安全に長期間閉じ込めるためには、「貯留層」と「遮へい層」の存在が重要です。九十九里沖では、これまでの水溶性天然ガスの開発・生産で得られたデータから【CO₂の貯留に適した地層】がある可能性が高いと考えられています。今回の地下調査では、海底に調査用の井戸を掘り、岩石や地層のデータを取得します。これにより、CO₂を安全に貯留できる地層が実際にあるかどうかを確認できます。

- ✓現在は1本目の地下調査段階です。調査段階でのCO₂の地下貯留は行いません。
- ✓調査中に発生したゴミは、船で鹿島港へ輸送し産業廃棄物として処理し、海洋投棄はしません。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
準備			現在				
掘削(1本目)							
		海水の圧入試験					
		井戸の安全閉鎖・機材の片付け					
			2本目掘削の準備				
				掘削(2本目)			
				井戸の安全閉鎖・機材の片付け			

Q.なぜ九十九里沖なのか？

これまでのデータから、国内有数の【CO₂貯留に適した地層】がある可能性が高いと考えられるからです。

Q.掘削装置だけで調査できるの？

資材を運ぶ船と作業員を運ぶヘリコプターが必要です。ヘリコプターは土日を除き毎日3便が運航中です。

Q. 調査終了後、調査用井戸はどうなる？

井戸は完全に閉鎖し、漁業に影響がでないようにします。作業用の掘削装置も完全撤収します。

地域の皆さまへ

調査の状況や安全への取り組みは、今後も「うみとみらい通信」やコミュニケーションセンター「うみとみらい」(〒283-0102 千葉県山武郡九十九里町小関2347-98地先)を通じてお伝えしていきます。

「うみとみらい」には、スタッフが常駐しております。ご不明な点やご心配なことがありましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

営業時間：
10時～16時
休館日：火曜日、
水曜日、年末年始



＼場所はこちら／



今月の豆知識

Q. 「掘削装置」で働く作業員は、どのくらい海上に滞在するの？

A. 作業員は2～4週間ほど掘削装置に滞在し、1日2交代で作業を行います。そのため、装置内には宿泊設備が整っています。



発行：首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット
千葉県千葉市中央区問屋町1-35
お問い合わせ：043-375-6531
<https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php>

＼お問い合わせフォーム／

